

Asahi



B-MAX13

型式 ASE-K13

このたびは Asahi 石油小形給湯機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

水道直圧式
石油小形給湯機

取扱説明書

もくじ

ページ

特に注意していただきたいこと	1
各部のなまえ	
外観図	7
本体構造図	8
バーナー部	8
メインリモコン	9
使用前の準備	11
使用方法	
給湯	14
給湯モードの切換について	15
リモコンの優先について	18
使用上の注意	19
凍結予防	20
安全装置	23
その他の装置	23
日常の点検・手入れ	
点検・手入れのときの注意	24
点検・手入れの時期、 必要項目、方法	25
定期点検	26
故障・異常の見分けかたと処置方法	27
部品交換のしかた	29
仕様	30
アフターサービス	31
据付け	32

特に注意していただきたいこと

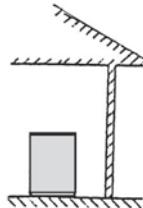
- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

! 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
! 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	指 示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			必ず行うこと
		分解禁止			一般的な注意
		一般的な禁止			高温注意

! 警告(WARNING)

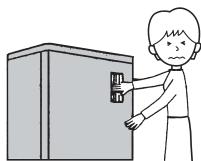
ガソリン厳禁	排ガスは必ず屋外に出す
 灯油専用 KEROSENE ONLY	  排ガスを室内に出すと、一酸化炭素が発生して中毒になるおそれがあります。 必ず屋外に設置してください。

⚠ 注意(CAUTION)

高温部接触禁止



接触禁止

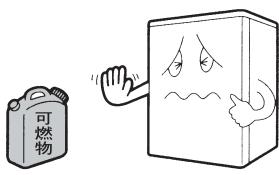


燃焼中や消火直後は、高温部（機器や排気部）に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

可燃物禁止



禁止



壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。（工事説明書参照）
また機器の上や周囲にものを置かないでください。火災のおそれがあります。

高温注意



高温注意



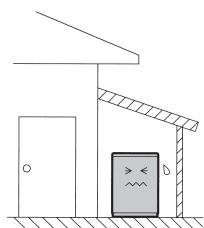
シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。
やけどのおそれがあります。
また、シャワー使用中は使用者以外の人はお湯の温度を変更しないでください。
やけどのおそれがあります。

ソーラ1及びソーラ2モードの場合給湯せんを絞りすぎて、流量が少なくなると、ソーラ水の熱いお湯がそのまま出る場合がありますのでご注意ください。
又、リモコン表示部にエラーコード「P1」が表示した場合は、太陽熱温水器のあついお湯ができる場合がありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
給湯せん又はシャワーを閉じて再び開いたときは一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

囲い禁止



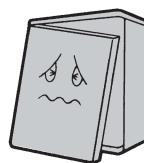
禁止



機器や排気部を波板などで囲まないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災の原因になります。

分解・修理・改造の禁止

(感電・漏電・火災の原因)



分解禁止

故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

特に注意していただきたいこと

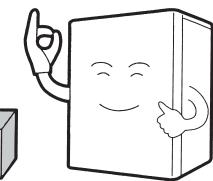
⚠ 注意(CAUTION)

純正部品以外は使用しない

(事故の原因)



必ず行う

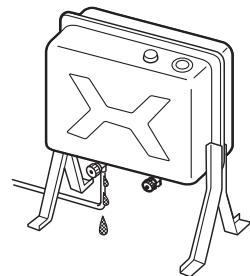


部品は必ず Asahi 石油小形給湯機純正部品（指定された部品）を使用してください。

油漏れに注意 (火災の原因)



必ず行う

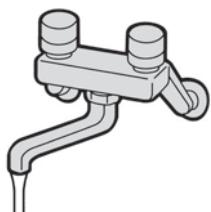


機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れがないか確認してください。

用途に注意



必ず行う

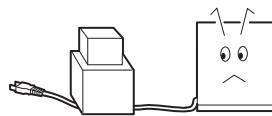


家庭の給湯以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

電源コードを傷めない



禁止

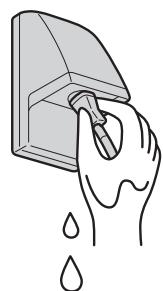


電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



注意

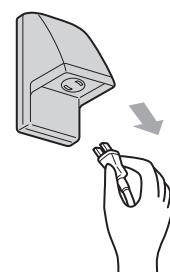


電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

電源プラグを抜いて停止させない



禁止



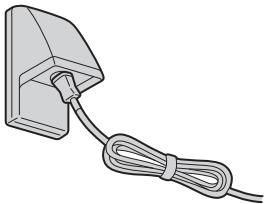
電源プラグを抜いて機器を運転状態から停止させないでください。火災・感電の原因になります。

⚠ 注意(CAUTION)

電源コードは束ねたまま
使用しない



禁止

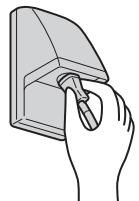


電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。発熱や火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む



必ず行う

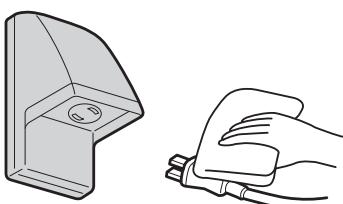


電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



必ず行う



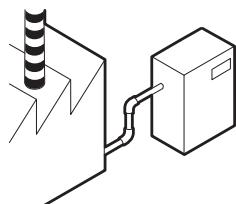
ときどきは電源プラグを抜き、ホコリ(および金属物)を除去してください。
ホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

家庭用以外の使用禁止

(事故の原因)



禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。
業務用に使用して事故が発生した場合は、保証の対象外になります。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書のP 23、24に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災・事故の原因になります。



必ず行う

23・24ページ

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意(CAUTION)

長期間使用しないときは
機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、
電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグを抜く

21・22 ページ

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方や
交流 100V 以外での使用はしない



禁止

防雨型コンセントを使ってください。
他の器具と併用すると、発熱による火災の原因になります。

変質灯油・不純灯油は使わない



禁止

変質灯油や不純灯油などは絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になることがあります。

お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグ
を抜いてから行う



必ず行う

感電・やけどの原因になることがあります。

上に乗ったり、物を乗せたりしない



必ず行う

落下・転倒など、けがの原因になることがあります。
機器を損傷するおそれがあります。

異常時使用禁止

万一異常（音、煙、臭い）を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



禁止

お願い(NOTICE)

高地で使用する場合は
ご相談を…



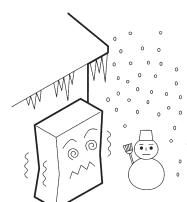
注意

標高 1,000m～1,300mで使用する場合
は、お買い上げの販売店にご相談ください。

凍結に注意



注意

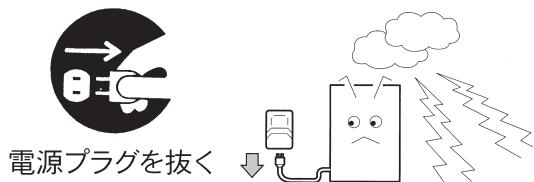


冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には十分注意してください。

20～22 ページ

お願い(NOTICE)

落雷のおそれがあるときの処置



雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷する事がありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

断水のときは



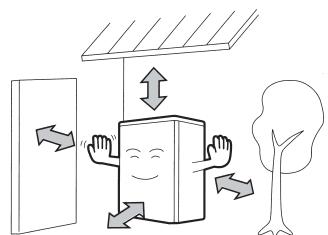
給湯じや口を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。

28ページ

サービススペースの確保



必ず行う



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

電気器具の近くに設置しない

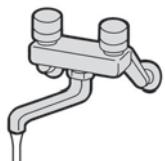


禁止



テレビやラジオ等の近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。離して設置してください。

混合水栓について



混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓等で使用できないことがあります。



やけど防止のためサーモスタッフ付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。

給水源について

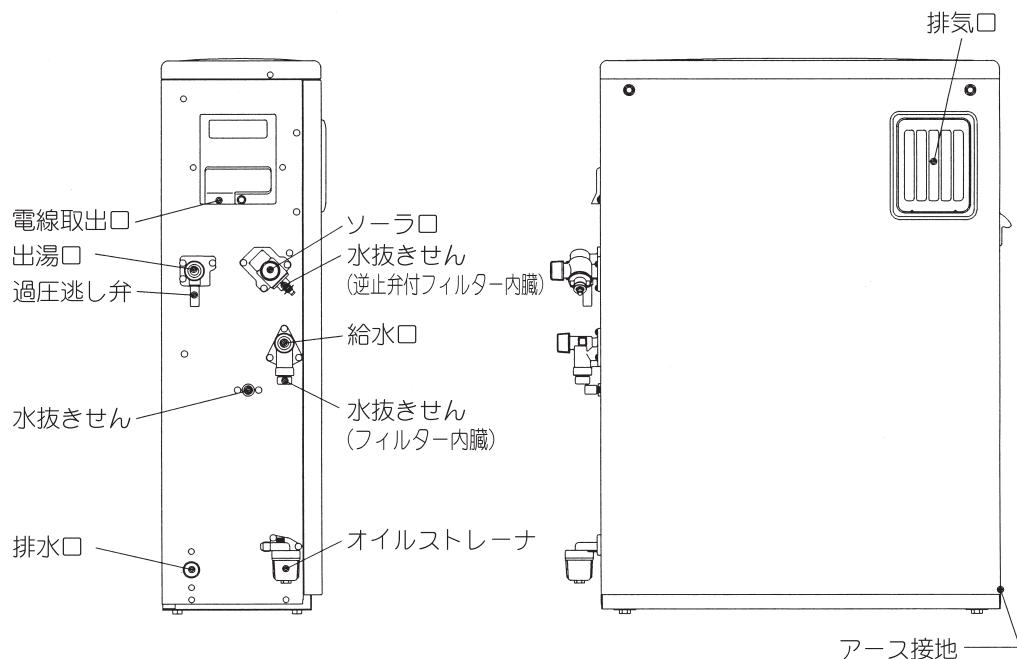
この機器を温泉水・井戸水で使用すると、機器の熱交換器・内部配管の水漏れ等耐久性を損なう場合がありますので使用しないでください。



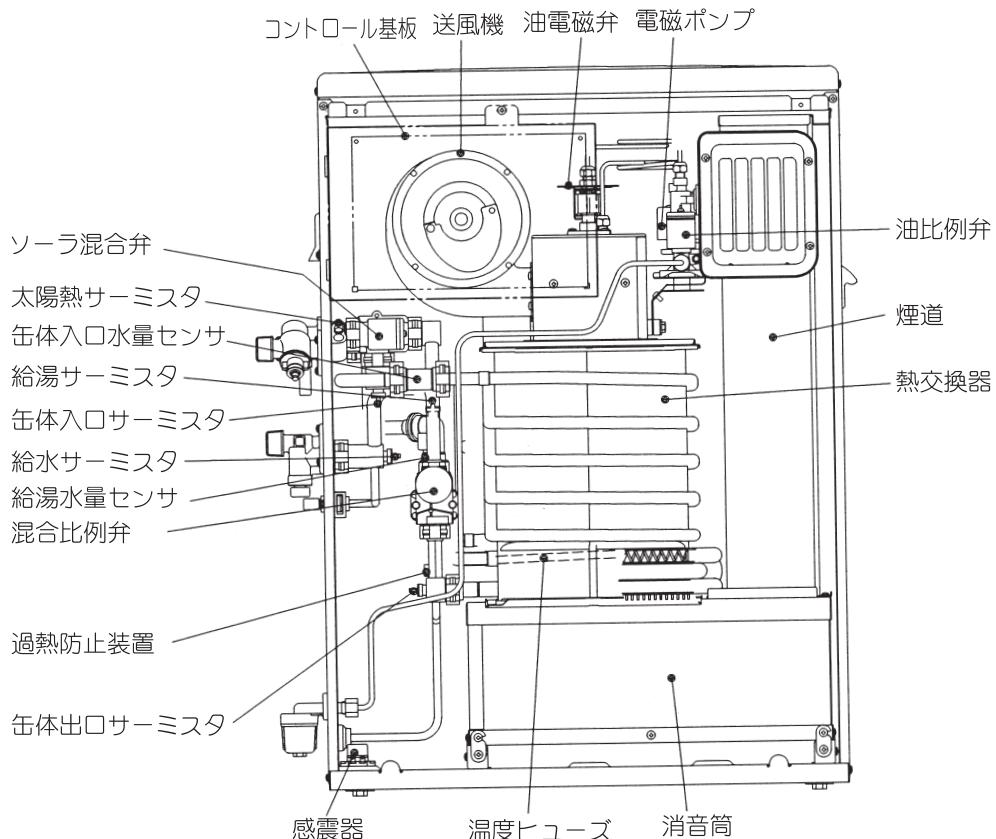
必ず行う

各部のなまえ

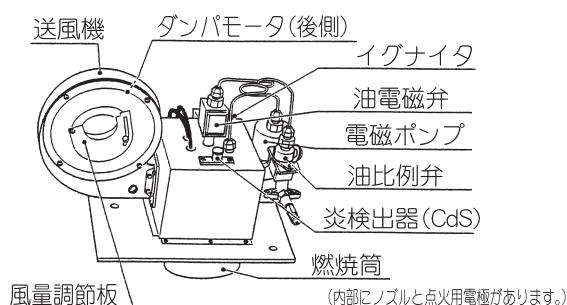
●外観図



●本体構造図

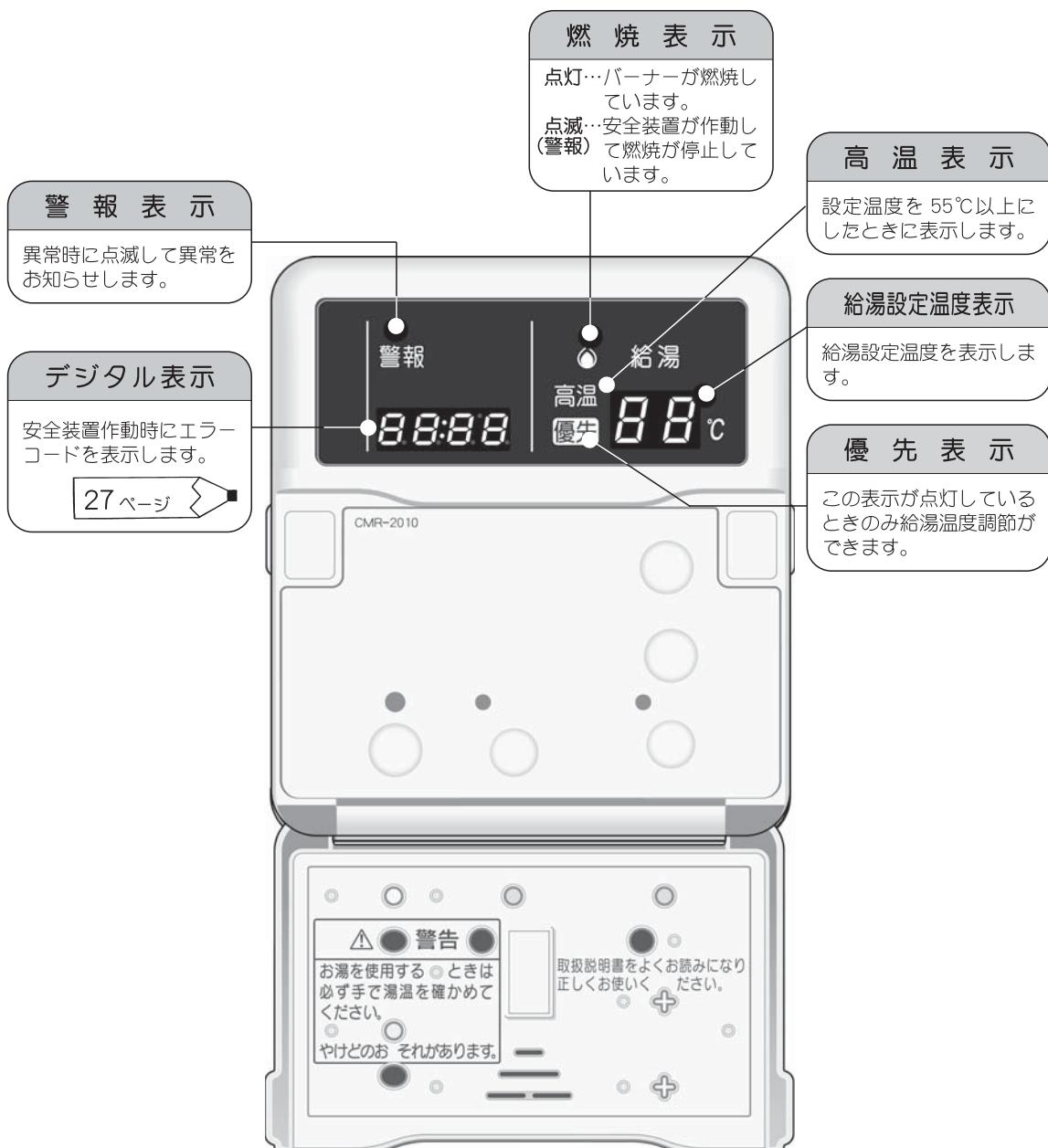


●バーナー部



各部のなまえ

●メインリモコン



※ふたを開いた状態です。

- 表示例は説明のためのもので実際とは異なります。
- ふたの中にはスイッチはありません

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

運転スイッチ (運転ランプ)

運転／停止、リセットするときに押します。
運転スイッチが「入」のときに点灯します。

●ふたを閉じた状態です。



給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
優先表示が点灯しているときのみ調節できます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。

温度調節範囲…約 37～75°C
37～50°Cまでは 1°Cごとに、50～75°Cまでは 5°Cごとに設定できます。

給湯モード切換スイッチ (ランプの点灯・消灯)

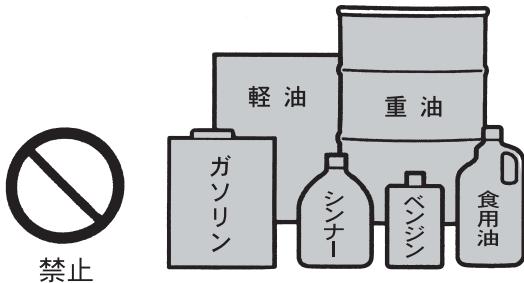
給湯モードを切り換えるときに押します。
選択したモードが点灯します。二度押しすると消灯しボイラーモードになります。

15～17 ページ

使用前の準備

燃料

燃料は灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。



⚠️ 警告

ガソリン、ベンジン、シンナー、重油、軽油やその他のものが混入した灯油は火災・故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

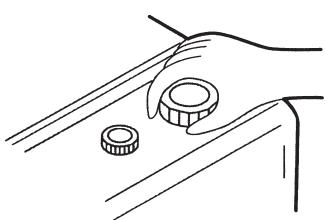
⚠️ 注意

変質灯油や不純灯油は使わない。
変質灯油や不純灯油は絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になることがあります。

2 給油口ふたは確実に締める



必ず行う



給油口ふたは確実に締めてください。

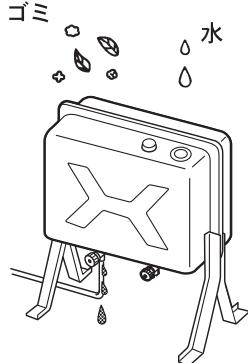
給油

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意



禁止



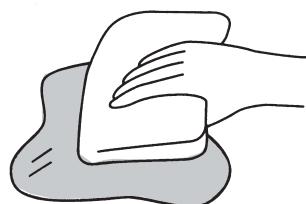
給油の際に水、ゴミなどを入れないように特に注意してください。

水、ゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

3 こぼれた灯油はふきとる



必ず行う



こぼれた灯油はよくふきとってください。

4 燃料切れの注意と送油経路の空気抜きの方法

油タンクを空にしないように注意してください。

空にした場合は油タンクに給油した後リセットしてください。(リセットすることにより、送油経路の空気抜きが行われます。)

28 ページ

リセットしても点火しない場合は、何度もリセットを繰り返すと危険ですので、販売店にご連絡ください。

●試運転時に機器内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがあります(故障ではありません)。

警報になった場合はリセットしてください。

●何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。



使用前の準備

点火前の準備と確認

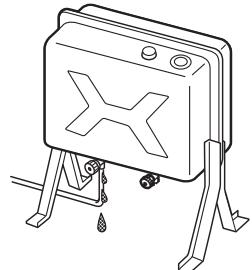
1 給水および水漏れの確認

- (1) 給湯じや口を開き、じや口から水が出来ることを確認してください。
- (2) 機器や接続部から水漏れしていないか確認してください。

2 送油経路の点検

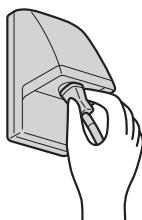


必ず行う



油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確認してください。

3 電源プラグの確認



必ず行う



注意

濡れた手危険

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 機器周辺の確認



警告



必ず行う

- 本体の上や周囲にものを置かないでください。
- 排気口の前にものが置かれていないか確認してください。

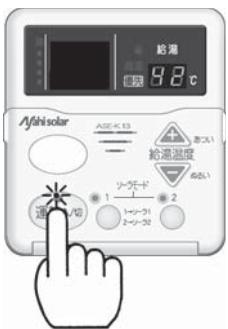
5 排気吹出し方向を変えたい時

排気吹出し方向に植木や窓などがあって排気の吹出し方向を変えたい時は、別販の排気カバー（VK-HH-2）を使用してください。

使用方法

給湯

1 運転スイッチを押す



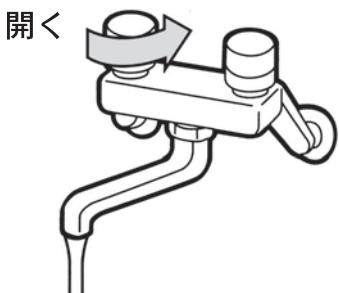
運転ランプが点灯します。

2 温度を調節する



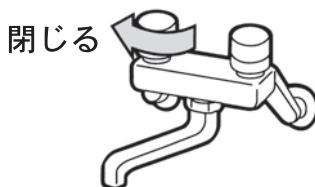
給湯温度調節スイッチを押し、ご希望の温度に調節してください。
設定温度は約 37~75°C の範囲で調節できます。

3 給湯じゃ口を開く



自動的にバーナーが点火し、リモコンに給湯燃焼表示が点灯してお湯が出ます。

4 給湯じゃ口を閉じて停止する



自動的にバーナーが消火し、リモコンの給湯燃焼表示が消灯します。
次回お使いになるときはそのまま給湯じゃ口を開くだけで使用できます。
長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。



シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

- サーモスタッフ付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの温度調節を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときにはリモコンの設定温度を混合水栓のご希望の温度より 10~15°C 高い温度に設定してください。

使用方法

給湯モードの切換について

この給湯機は太陽熱温水器対応タイプです。

給湯モードの切換により、太陽熱温水器と水道水の選択を行うことが出来ます。

給湯モードの切換方法

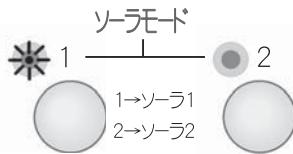
■給湯モード切換スイッチを押すと

ソーラ1、ソーラ2、ボイラー

の選択ができます。

ランプが点灯したモードが設定された給湯モードです。

(例)



●ボイラーモードは点灯しません。

	ランプ	季節	天気
ソーラ1	* 1 ● 2	夏	晴
ソーラ2	● 1 * 2	春・秋	曇
ボイラー	● 1 ● 2	冬	雨

■給湯モードと給湯回路の関係

給湯モード	給湯回路
ソーラ1	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します (燃焼加熱なし)
ソーラ2	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します (太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します)
ボイラー	水道水のみを使用 (燃焼加熱します)

お知らせ

●メインリモコンの運転スイッチ「切」時は、じゃ口を開くと水道水が給水されます。

ソーラ1モード

- 太陽熱温水器が十分に昇温している場合（夏期及び中間期・晴天日など）有効なモードです。
- 太陽熱温水器のお湯を自動混合し、設定温度のお湯を給湯します。（太陽熱温水器の温度が給湯機の設定温度より高いとき。）
- 3種類の給湯モードの中で最も省エネのモードです。

使い方

- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より高いとき、カランによるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 強いシャワー圧を得る場合は、リモコンの温度設定を高温設定にし、カランで湯水混合してご使用ください。
- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より低いとき、ぬるい湯又は冷たい水がそのままできますので、ソーラ2又はボイラーモードで、燃焼加熱してご使用ください。

お知らせ

- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度以下になると、カランによるお湯はりやシャワー及び台所の給湯温度も下がります。その時は、リモコンの設定温度と給湯温度は一致しません。

ソーラ2モード

- 太陽熱温水器の昇温が不十分な場合（春、秋、くもりの日等）に有効なモードです。
- 太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使い方

- 太陽熱温水器のお湯の温度に関係なく、カランによるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より高いときは、ソーラ1モードでご使用ください。（省エネに効果的です。）

お知らせ

- 太陽熱温水器のお湯の温度に応じて燃焼加熱します。
- 太陽熱温水器のお湯が設定温度より低くなってきた場合、お湯の出が少なくなることがあります。

使用方法

ボイラーモード

- 太陽熱温水器が利用できない場合（冬期、雨の日及び太陽熱温水器の故障時等）に有効なモードです。
- 水道水を燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使 い 方

- カラントによるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 冬期や雨の日など太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より低いとき、太陽熱温水器の凍結でお湯がでないとき及び故障のときなどにご使用ください。
- 水道直圧式で強いシャワー圧が得られます。



- 太陽熱温水器の水は利用しません。

リモコンの優先について

優先表示が点灯しているリモコンでのみ給湯温度調節ができます。



シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

給湯量と給湯温度の早見表（ボイラーモード運転の場合）

- 給湯量と給湯温度との関係は次のようになります。
最大給湯量は約 20L/min、最小給湯量は約 3L/min です。
- ソーラ 1、ソーラ 2 モード運転の場合の給湯量と給湯温度の目安は諸条件により変化します。

給湯使用時

給湯温度	給湯量 (L/min)		
	給水温度		
	5 °C (冬期)	15 °C (春期・秋期)	25 °C (夏期)
37°C	約 20	約 20	約 20
45°C	約 16		
55°C	約 13	約 16	約 16
65°C	約 11	約 13	

停電後の使用方法

- 一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。
給湯じや口を閉じ、リモコンの運転スイッチを「入」にして運転を行ってください。
- 設定した温度は停電後も記憶しています。
- 停電中は給湯じや口を閉じてください。

使用方法

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「③ 機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

21・22 ページ

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「② 給湯じや口から水を流す方法」または「③ 機器内の水を抜く方法」に従って凍結予防を行ってください。

20~22 ページ

地震などの被害があったとき

- 運転スイッチを「切」にして、機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

使用上の注意

⚠ 注意

1 排気部に注意

排気部は高温です。手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書のP 23、24 に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災・事故の原因になります。

23・24 ページ

3 みだりに飲用に用いないでください

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質、配管材料の劣化、
水あかなどにより水質が変わることがありますので、飲用または調理には用いないで
ください。

4 油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

5 日常の点検・手入れを行う

24~26 ページ

凍結予防

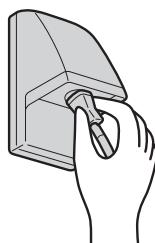
- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

1 凍結予防装置による方法（自動）

電源プラグの確認



注意



濡れた手危険



必ず行う

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

冷え込みが厳しい場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので「2」または「3」の処置を行ってください。

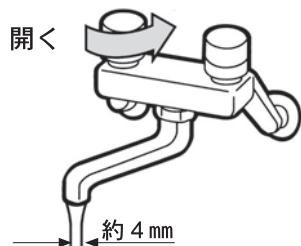
2 給湯じゃ口から水を流す方法

「1 凍結予防装置による方法」も必ず同時にやってください。

1 運転スイッチを「切」にする



2 給湯じゃ口を開く



給湯じゃ口を開き、1分間に400cc程度（約4mm）の水を流したままにします。

お知らせ

- 機器だけでなく、配管・バルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。

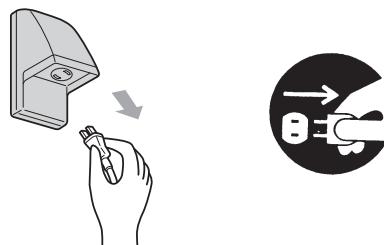
使用方法

3 機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません。）

1 運転スイッチを「切」にする

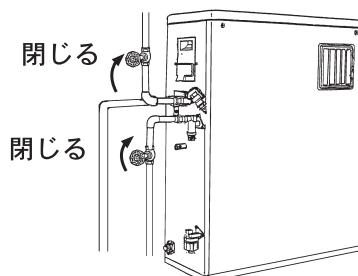


2 電源プラグを抜く

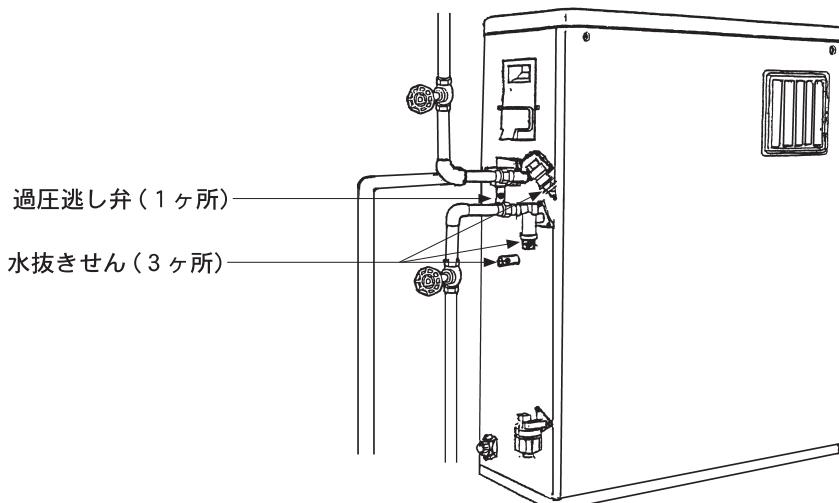


送風機が停止してから、電源プラグを抜いてください。

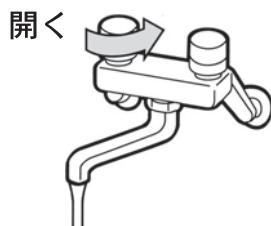
3 給水元栓を閉じる



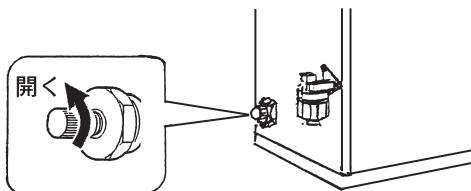
4 過圧逃し弁（1ヶ所）、水抜きせん（3ヶ所）をはずす。



5 給湯じや口を開く



6 排水せんを開く



お知らせ

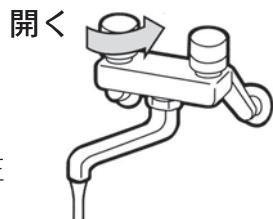
- 水を抜く方法は配管・バルブ等の凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- 再度使用する場合は排水栓を閉じ、過圧逃し弁・水抜きせんを元通りに取り付け、給水元栓を開いて次の「再運転開始時の注意」を確認してください。
その後、「使用前の準備」「使用方法」に従って使用してください。

11~18 ページ

再運転開始時の注意

- 機器を運転する前には必ず次のことを確認してください。
確認しないで運転すると機器を破損することがあります。

給湯じや口を開く



給湯じや口を開いて、水が出てくるのを確認してください。
水が出にくいときには配管などが凍結していますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や衝撃を受けたときに作動して自動消火します。 エラーコード「P3」を表示してお知らせします。	周囲の可燃物、機器の破損、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置 (制御基板)	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動消火します。 エラーコード「E1」または「E3」を表示してお知らせします。	エラーコードに従って処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動消火します。	再通電後は運転停止になりますので、再使用時は運転スイッチを「入」にしてください。

※リセット(警報解除)の方法 … リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置 (ハイリミット)	サーミスタ、燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だき等により熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動消火します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度ヒューズ (185°C)	エラーコード「E4」を表示してお知らせします。	27ページ

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍結予防装置	外気温が約3°C以下になると、凍結予防ヒータが自動的に機器本体の給水経路を保温します。	機器を運転した場合や凍結のおそれがなくなると自動的に切れます。
電流ヒューズ (10 A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。送風機ヒューズが切れたときはエラーコード「E7」を表示してお知らせします。	お買い求めの販売店にご連絡ください。
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃がして熱交換器を保護します。	給湯じや口を閉じたときに少量水が出る場合は故障ではありません。連続して漏れる場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意



注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れの際は金属部に充分注意してください。ケガの原因になることがあります。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの時期、必要事項、方法

毎日

機器の周囲



警告

- 本体の上や周囲にものを置かないでください。
- 排気口の前にものが置かれていないか確認してください。

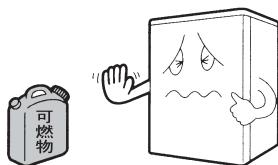


必ず行う

周囲の可燃物



必ず行う

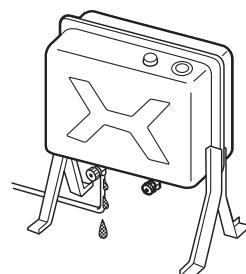


機器、排気部および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。

油漏れ、油のたまり、油のにじみ



必ず行う



機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか確認してください。

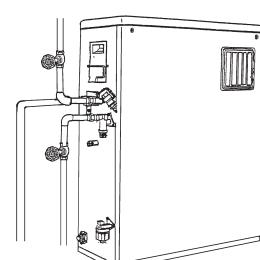
適時に

水漏れ



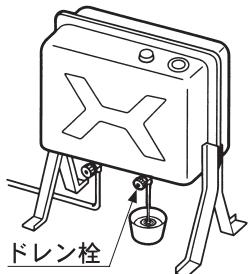
必ず行う

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。



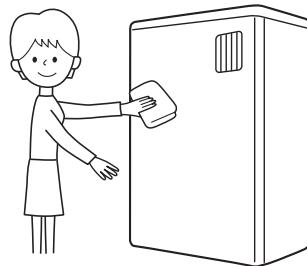
1年に1回以上

油タンク



油タンク内には水がたまりやすいので、タンクのドレン栓を開いて必ず抜きとつてください。ドレン栓の開閉はタンクによって異なります。

ホコリ

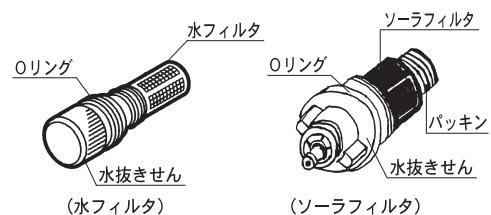


機器外面にホコリがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとつてください。

水フィルタ及びソーラフィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまると湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

- (1) 給水元栓及び太陽熱温水器の止水栓を閉じます。
- (2) 水抜きせんについている水フィルタ（1ヶ所）及びソーラフィルタ（1ヶ所）を掃除します。水フィルタ及びソーラフィルタを変形させないように注意してください。
- (3) ソーラフィルタの逆止弁のパッキンを掃除します。
- (4) 水抜きせん（2ヶ所）を取り付け、給水元栓及び太陽熱温水器の止水栓を開いた後、給湯じや口を開き、配管内の空気を抜いてください。



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は点検を受けることをお奨めします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。（定期点検は有料です。）

故障・異常の見分けかたと処置方法

- リモコンのデジタル表示部に故障・異常箇所をエラーコードで表示するとともに音が出ます。確認・処置後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

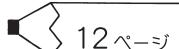
エラーコード	説明	確認・処置
E1 E3	着火ミス・途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。
E2	炎検出器異常	
E4	異常加熱防止装置作動 または温度ヒューズ断線	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板(記憶回路)異常	リセットしてください。リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E7	送風機異常	
EF	太陽熱サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
P1	ソーラ混合弁異常（下欄外参照）	
P3	耐震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認してリセットしてください。 リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。
P4	混合弁異常 (下欄外参照)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
P5	給水サーミスタ異常	
P8	水比例弁異常 (下欄外参照)	電源プラグを差し直したのち、リセットしてください。 直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
H1	ダンパーモータ異常	
H2	缶体出口サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
H3	缶体入口サーミスタ異常	
H5	油サーミスタ異常	
H6	停電復帰検知	停電の有無を確認してください。
H7	給水温度異常検知	
H8	高温出湯異常検知 (給湯サーミスタ)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
H9 HE	高温出湯異常検知 (缶体入口サーミスタ)	
HU	給水サーミスタ高温検知	
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

*エラーコード「P1」・「P4」・「P8」は機器に通水する前に運転スイッチを入れると表示されることがあります。機器内の水を抜いた後は、機器に通水してからリセットしてください。

*リセット(警報解除)の方法 … リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

サービスを依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	他の給湯じゅうたんを同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。 また、給湯じゅうたんを絞りすぎると（約3L/分以下）、点火しなくなる場合があります。
給湯じゅうたんを開いてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯じゅうたんまでは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
排気部から湯気が出る	排気ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。  12ページ
油を切らした後、給油しても火がつかない	油が切れた後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火がつきません。
お湯の出が悪くなった	水フィルタ、ソーラフィルタ、じゅうたんのフィルタにゴミが詰まっているためです。  26ページ
運転スイッチを「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排気ガスを排出するためです。
停電後、リモコンの表示が出ない	運転スイッチを押しても「入」にすると表示が出ます。
燃焼停止後に過圧逃し弁からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃がすためです。
温度調節できない	リモコンの優先表示が点灯していないと温度を調節できません。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。 リモコンの運転スイッチを「切」にしていても電子回路が作動していますので発熱があります。
ソーラ1、ソーラ2モードでお湯又は水が途中で出なくなる。	太陽熱配管の凍結や故障が考えられます。機器入口までの配管経路を確認してください。

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 部品は必ず Asahi 石油小形給湯機純正部品（指定された部品）を使用してください。
- 故障したまま使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

型式の呼びび	A S E - K 1 3
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・屋外用開放形
点火方式	高圧放電式
最低作動水量	3.0 ± 0.5 L/min
使用燃料	灯油 (JIS 1号灯油)
燃料消費量	5.3 L/h
連続給湯効率	86.0%
連続給湯出力	46.5 kW (40,000 kcal/h)
熱交換器容量	1.0 L
最高使用圧力	1.0 MPa (10kgf/cm ²)
伝熱面積	0.26 m ²
外形寸法	高さ 765 mm 幅 550 mm 奥行 220 mm
質量	33 kg
電源電圧及び周波数	100 V 50/60 Hz
定格消費電力	点火時 130/120 W 燃焼時 120/115 W
排気温度	260 °C 以下
騒音レベル	60 dB 以下
ノズル	噴霧量 1.45 GPH リターンノズル
	スプレーパターン エバーロイ社のセミフォロー
	噴霧角度 70°
電流ヒューズ	10 A
送風機ヒューズ	3 A
温度ヒューズ	185 °C
バーナー型式	S B - 428 D
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置
その他の装置	異常過熱防止装置・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 温度ヒューズ・過圧逃し弁
付属品	メインリモコン・メインリモコンコード・アース棒・転倒防止金具・製品固定用ビスセット メインリモコン工事用ビスセット・油配管用 ø 8 銅管・ビニルホース・排水栓付きプラグ 表示シール (2種類)・取扱説明書・工事説明書・保証書
区分名 (省エネ法)	A
エネルギー消費効率	86.0%

アフターサービス

サービスを依頼されるときは

サービスを依頼される前に 27・28 ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、ご使用を中止し電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……Asahi 石油小形給湯機
2. 型 式……A S E - K 1 3
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設されるときは

- 転居される場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」を添付しています（別添付）

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より1年間はお買い求めの販売店が無料で修理いたします。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 温泉水・井戸水でのご使用は、保証の対象外となります。
- 凍結やスケール（石灰つまり）による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

石油小形給湯機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後り7年です

- 性能部品とはこの製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店とよくご相談してください。

また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。

騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準備内容（確認事項）	チェック
(1) 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
(2) 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3) 送油管が逆U字型になっていますか。	
(4) 給水元栓を開き、給湯ジャロを開くと水が出ますか。	
(5) 機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6) リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7) 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
(8) 太陽熱温水器と給湯機本体までの配管内部のエアは抜けていますか。	
(9) 屋外設置となり通気は十分されていますか。	
(10) バーナーの点火・消火は確実ですか。リモコンの燃焼表示で確認してください。	
(11) 湯温調節はできますか。湯温が変化するかどうか確認してください。	

据 付 け

運 転

給 湯

(1) 運転開始手順

リモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯モード切換スイッチを「ボイラーモード」にて給湯じゅうじやくを聞いてください。優先表示の点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

(2) 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ビービー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。

(3) 正常運転のめやす

湯温調節できるか、排気口からススや煙が出てないか、また異音はしていないか確認してください。

ソーラ1モード、ソーラ2モードも正常な動作をするか確認してください。給湯モード切換スイッチを操作し運転モードを選択します。

ソーラ1モード

- ・給湯温度設定の「あつい」／「ぬるい」を押して湯温の変化を確認します。(設定温度よりソーラ水温度が低い場合はソーラ水がそのまま流れるため設定温度にはなりません)

ソーラ2モード

- ・給湯温度設定の「あつい」／「ぬるい」を押して湯温の変化を確認します。

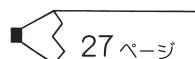
(4) 停止

給湯じゅうじやくを閉じると給湯燃焼表示が消灯し、バーナーが停止します。

いずれかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

- 給湯燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。



27 ページ



朝日ソーラー株式会社

〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:(097)546-7500(代) FAX:(097)546-7555
<http://www.asahisolar.co.jp>

販 売 店